

日	曜	開始時間	内容	日	曜	開始時間	内容
1	金			17	日		
2	土			18	月		
3	日	憲法記念日		19	火		
4	月	みどりの日		20	水		
5	火	こどもの日		21	木		
6	水	振替休日		22	金		
7	木			23	土		
8	金			24	日		
9	土			25	月		
10	日			26	火		
11	月			27	水	19:00	せいとく祭第1回実行委員会
12	火			28	木		
13	水			29	金		
14	木			30	土		
15	金			31	日		
16	土						

成徳地区自治公民館協議会 5月おもな予定 (4/24 現在)

- ◆館長会 5月19日(火) 19:00~ (成徳公民館)
- ◆三役会 5月28日(木) 10:00~ (成徳公民館)
- ◆文化部 ガーデニング企画 5月29日(金) 13:30~ (成徳公民館)
お申込みいただいた方への材料配布のみ

◆子ども食堂テラハウス 再開検討中 問い合わせ: 080-5614-3131

リサイクル ベルマーク ご協力ありがとうございます。

- ★使用済み小型電子機器 (成徳公民館自転車置き場ヨコ)
- ★天ぷら油の食用廃油 (成徳公民館自転車置き場ヨコ)
- ★ベルマーク (成徳公民館玄関内)



館報「成徳」カラー版を成徳公民館窓口に置いています。
市報、県政だより、チラシ等ご自由にお持ち帰りください。



成徳公民館・図書コーナー「ちょこっとギャラリー」
「退職公務員連盟 手芸同好会」の皆様作品を展示します。
心のこもった手づくりの作品にほっこり!

※5/7(木)からご覧いただけますが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため
非常事態宣言の延長等により、市有施設の利用中止も延長される場
合があります。ご了承ください。

新型コロナウイルス感染拡大防止のため
5月・中止の事業

- ◆なごもう会
・長寿社会課・高齢者福祉係 TEL: 22-7851
- ◆ふれあい給食 (地区社協)
- ◆ソフトバレーボール大会 (自治公)
- ◆学校へ行こう!
- ◆3B 体操教室
- ◆マミアカ・フラサークル

◆その他、成徳公民館主催の事業を延期しております。
・倉吉市成徳公民館 TEL: 22-1301

■5/17 玉川一斉清掃 (玉川を美しくする会)
実施の可否検討中

◆中止となった各団体の定期総会は関係者の皆
様へ書面決議資料を送付しております。



第448号 令和2年5月1日
倉吉市成徳公民館 (鳥取県倉吉市住吉町 77-1)
TEL: 0858-22-1301 FAX: 0858-23-3653
○開館: 月~金 9:00~17:00 (祝祭日を除く)
公民館の利用: (9:00~22:00)



倉吉市の人口 46,475人 世帯数 20,643
成徳地区の人口 2,822人 (男 1,311人 女 1,511人) 世帯数: 1,423世帯
0歳~14歳: 294人 15歳~64歳: 1,407人 65歳以上: 1,121人 (令和2年3月末現在)

生き方を変えた鳥 新型コロナウイルスが世界中の人の生活を大きく変えています。しかし私たちは、ウィルスを絶滅させることはなく、細胞の中でしか増えることができないこのウィルスと共存する道をとることになると思われま。全ての生きものは、二・三十億年の長い年月の間に形や行動を変えて現在に至っています。少しずつ変わってきたように思っていますが、変化は急激に起こることもあるようです。その一例になるかと考えられるものが、みなさんの身近で見られるイソヒヨドリの街中への進出です。

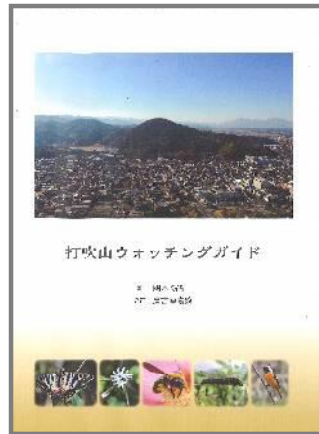


朝早くから屋根や電柱の上で、美しい声でさえずっているヒヨドリくらいの大きさの鳥です。雄は、陽が当たると頭部と背側は青色、腹部はチョコレート色に輝きます。色素ではなく光の反射で現れる色ですので天気の悪い日は黒っぽく見えてしまいます。雌は対照的に地味で背側は黒褐色、腹側は黄褐色の濃淡のウロコ模様です。

イソヒヨドリが街中で見られるようになった年を記憶していませんが、30年くらい前、いつの間にかスズメよりも多い鳥になっていました。かつては名

前の通り磯に生息する鳥で、岩石海岸がある宇野周辺にまで行かないと見られない鳥でした。名前にヒヨドリとついています。ツグミの仲間です。岸壁の隙間の棚に巣を作り、海岸の虫を食べる生活をしていました。ところが近年、何百万年もの間生きてきた場所よりもっと良い住み場所を見つけたのです。日本中で一斉に移住が始まりました。内陸部にある岸壁=コンクリートの高層建築、餌となる虫が集まる場所=夜間のコンビニの照明や街灯が誘いになりました。住宅難の解消、1ヶ所で労せず食事にありつける、こんないいことはありません。栄養が良くなれば産卵数も増え、子育てもたやすくなります。磯にいた頃と比べ個体数も大きく増えました。毎朝、雄のなわばり争いで出す大きな鳴き声で目が覚めます。街灯に集まったガなどの虫は夜明けとともにきれいに食べてくれます。コンクリートの建物でなくても、ムクドリ(成徳地区ではガーガと呼ぶ)が営巣していた木造家屋の隙間でも巣に利用しています。

数年かけて内陸奥部の人家などにも生息地を広げていきました。最近では、打吹公園でも多くなり、樹や地面の虫を食べています。やがて山地の鳥になり、他の鳥を追い出すのではないかと心配しますが、営巣に適した樹洞のある大木が少ない今、それはなさそうです。生物は変わっていきます。皆さんも日頃の観察から新しい発見ができるかもしれません。(倉吉博物館専門委員 國本洗紀)



倉吉博物館が、倉吉市のシンボル・打吹山で出会う動物や植物を紹介するガイドとして執筆された内容を観察に適した季節ごとに再編集した「打吹山ウォッチングガイド」を発行。打吹山のことがわかる解説書はめくるだけで郷土の自然文化に愛着が深まります。

1冊 1,500円(税込) 成徳公民館窓口でもお求めいただけます。

5月 contents ・ ・ ★生き方を変えた鳥 ★一人は万人のために、万人は一人のために』 ★保健だより ★5月おもな予定★自治公協議会5月の予定 ★子ども食堂テラハウス 再開検討中 ★新型コロナウイルス感染拡大防止のため 5月・中止の事業 ★リサイクル・ベルマーク ★館報「成徳」カラー版ほか ★ 成徳公民館・図書コーナー「ちょこっとギャラリー」

～ 一人は万人のために、万人は一人のために！ ～

新型コロナウイルス感染拡大

新型コロナウイルスの感染が全世界で拡大し、日本では4月16日、全都道府県を対象に非常事態宣言が出される事態となり、日本経済にも深刻な打撃を与えています。倉吉市内でも感染予防対策が4月15日から5月6日まで公共施設の貸館業務中止、人との接触を減らす措置が取られています。このように世界中が新型コロナウイルスによって動揺し、混乱した状況に追い込まれています。

新型コロナウイルスと人権

新型コロナウイルスの感染が急速に拡大するアメリカでは、感染が最初に広まった中国などアジア系の住民に対する差別が深刻化しているようです。人権団体には嫌がらせや暴行などの被害にあったという報告が数多く寄せられています。被害の内訳をみると「アジア人め」などと言葉による嫌がらせが67%と最も多く、「人に避けられた」が23%、「物を投げつけられるなど暴力を振るわれた」が10%となっています。これら以外にも交通機関への乗車を拒否されたり、顔や服に唾を吐きかけられたりしたケースもあったということです。被害にあった人は中国系が最も多く38%、韓国系が16%、ベトナム系7%、台湾と日系が5%、その4分の3が女性でした。

日本国内においても、コロナウイルスによる肺炎で死亡した男性の遺族は、自身は濃厚接触者ではなかったものの、「お前も感染者か」と聞かれたり、職場で人に避けられたり「差別を強く感じた」と訴えています。

濃厚接触者と認定された男性の身内の一人は、2週間の健康観察後もしばらく出勤が認められず、収入の減少に苦しみ、幼い子どもを抱え、「自分が感染したら誰が面倒を見るのか」と不安におびえています。また、患者や家族の家に石が投げ込まれたり、落書きの被害があったことが報告された地域もあり、陰湿極まりないイジメです。

医療従事者の子どもが学校で「バイキン」と言われたり、感染者が働いていた病院では、職員が飲食店に行った時に、店の人に入店を断られた例もあります。病院職員の子どもの通っている保育園から「通園をひかえてください」と断られたり、子どもが友だちに「コロナ」とからかわれたという報道もあります。運送業務従事者に対してバイキン扱いするような言動も起こっています。そして、企業等への休業要請によって、親や家族による家庭でのDV等の虐待行為も発生する心配があるとともに、企業内でのコロナハラスメントも報告されているなど人権を侵害する言動や行動が次々と起きていることに驚くばかりです。

見えないウイルスへの不安が続くと次第にストレスがたまり、差別的な言動につながっています。これは感染の不安と病への恐怖からくるものかもしれませんが、決して許されることではありません。世の中の混乱は社会的弱者や被差別当事者への攻撃、排除がはじまることをこれまでの歴史は証明しています。現在、全国的に感染予防活動が行われていますが、これが行き過ぎると、たちまち弱者排除の理論になります。ハンセン病元患者やAIDS患者等、その家族が受けてきたつらい経験から、私たちは学んでいるはずですが、不安の矛先を弱者に向けず、自分が差別する側に立たないことを忘れてはなりません。感染の恐怖があっても患者やその家族、医療関係者、社会的弱者等、誰かを傷付つけたりすることがないように言動や行動に充分配慮するようにしましょう。私たちは、約50年にわたり一人一人を大事にする同和教育、人権教育に取り組んできました。その中で学んできた「相手の立場に立って考えよう」、「自分自身が差別する側に立たない」を実践していきましょう。あなたと、あなたの大事な人を守るために、「一人は万人のために、万人は一人のために」がんばっていきましょう！



倉吉市人権文化センターは部落問題をはじめとする様々な人権問題に関する啓発活動や同和教育町内学習会相談事業を行っていますが、2020年度は新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、4月から6月までの相談事業を除く一切の事業を延期及び中止としていますので、ご理解をよろしくお願い致します。

文責：倉吉市人権文化センター 所長 下吉真二

保健だより

「新型コロナウイルス感染症」 高齢者として気をつけたいポイント 2020年3月 日本老年医学会より

全国的に新型コロナウイルス感染症が流行しています。

喫煙者や糖尿病、心疾患など基礎疾患をお持ちの方は感染症が重症化しやすいので注意しましょう。

また、感染しないために、**手洗い**を中心とする感染予防を心がけましょう。ただ、感染を恐れるあまり外出を控えすぎて『生活不活発』による健康への影響が危惧されます。

フレイル（虚弱）の進行を予防するために

動かない時間を減らしましょう

自宅でも出来るちょっとした運動で体を守ろう！

- 座っている時間を減らしましょう。
- 筋肉を維持しましょう！関節も固くならないように気を付けて。
- 日の当たるところで散歩くらいの運動を心がけましょう！

しっかり食べて栄養をつけ、バランスの良い食事を！

お口を清潔に保ちましょう。しっかり噛んで、できれば毎日おしゃべりを。

- 毎食後、寝る前に歯を磨きましょう！
- お口周りの筋肉を保ちましょう。電話も活用し、意識しておしゃべりしましょう。（鼻歌を歌う、早口言葉もオススメです）

家族や友人との支え合いが大切です！

- 孤独を防ぐ！近くにいる者同士や電話などを使用した交流を。
- 買い物や生活の支援、困ったときの支え合いを。

倉吉市役所 健康推進課 TEL27-0030



新型コロナウイルス感染症にかかったと思ったら・・・



次のような症状がある方は「発熱・帰国者・接触者相談センター」にご相談ください。

▲風邪の症状や37.5℃以上の発熱が4日以上続いている（解熱剤を飲み続けなければならないときを含む）

▲強いだるさ（倦怠感）や息苦しさ（呼吸困難）がある

- ※ 高齢者や基礎疾患等のある方、妊婦の方は、上の状態が2日程度続く場合。
- ※ 味覚や嗅覚の異常がある場合、新型コロナウイルス感染症に感染している事例が数多く確認されています。気になる方もご相談ください。

このような症状に当てはまらない場合でも発熱や呼吸器症状があり、かかりつけ医を受診される場合は、地域の医療機関を守るために、必ず、事前に電話連絡してから受診してください。突然、医療機関を受診され医師や看護師、他の来院者も感染した場合、医療機関の閉鎖につながり日頃の治療が受けられなくなるおそれがあります。

県内3か所に相談センターを設置 **中部地区（倉吉保健所内）** 電話（24時間対応） **0858-23-3135・0858-23-3136**

※ センターでご相談の結果、新型コロナウイルス感染の疑いのある場合には、専門の「帰国者・接触者外来」をご紹介します。マスクを着用し、公共交通機関の利用を避けて受診してください。

◎相談・受診の前に心掛けていただきたいこと

- ・軽い風邪症状の場合には、無理をせず、なるべく自宅で安静にして療養しましょう
- ・発熱等の風邪症状がみられるときは毎日、体温を測定して記録してください。鳥取県 令和2年3月27日時点版

